

大学生が新聞を手にとる為の広告__ 板倉諄哉

新聞は大学生にとって、どのようなメディアか

- 新聞は、
情報の信頼性が高く
社会的に関心の高いことを教えてくれる
メディアであると認識されている

現代の大学生の特徴

- スマホで時間を潰す
- 流行に敏感
- 知人の発信に関心が強い
- 自分の体験を共有したい
- 必要なもの、好きなものを自分でセレクトしたい
- 自分の欲しい情報をセレクトする

新聞の持つ課題

スマホ世代の大学生の
情報をセレクトするというスタイルにフィットしていない

新聞をもっとセレクトされるために、
HOT な話題性とアクセスのしやすさが重要だと考えます。

スマホ世代に適した新たな新聞との出会い



hash tag-shinbun

SNS を軸にした企画

新聞 × オノマトペ

ネタっぽさやコラ画像感から
人に見せたくなる話題性を持たせる

いっしょ!!



s h i n b u n ! 2018年(平成30年)3月17日(土)

森友14文書改ざん

「行政で決裁文書が書き換えられることはあってはならないのが大前提だ。」



#shinbun! 2018年(平成30年)3月17日(土)

#shinbun!_2018

再び揺れる森友問題

財務省が学校法人「森友学園」への国有地売却に関する決裁文書を改ざんした問題について、麻生太郎副総理兼財務相は13日午前の記者会見で「決裁された文書を書き換えることは極めてゆゆしきことで誠に遺憾と申し上げたい」と改めて陳謝した。その上で「原因究明と再発防止は大臣として与えられた仕事だ」と述べ、職務を続けることに意欲を示した。改ざんの経緯に関する省内の調査が続いており、麻生氏は「信頼回復が最も大切であり、必要な対応を行っていく」と強調した。

野田聖子総務相は会見で「行政で決裁文書を書き

換えられることはあってはならないのが大前提だ。非常に残念だし、悔しい思いだ。財務省に猛省していただくと苦言を呈した。そのうえで、麻生氏の進退に関して、「徹底的に事態を究明していただく責任がある。そこまですっかりやって、その後のことは本人の判断だ」と語った。

裁量労働制に関する異常データが問題になった厚生労働省の加藤勝信厚労相は「なぜこのような事態に至ったのか、国民の疑念にしっかり答えていかなければならない」と指摘した。

梶山弘志行政改革担当相は「公文書管理に関す

#新ブーンッ!

hash tag - shinbun

2018年(平成30年)
3月17日(土)



webで森友学園問題を解説中
http://shinbun_moritomo

新聞には、ナウで熱い情報が載っており、若者の関心が向かえば、時代を動かすような力があります。世の中の今を伝えるライブ感のあるメディアとして、若者の活力と勢いを前面に出した新聞がこの「#新ブーンッ!」です。SNSと連携で多く若者に新聞を手にとってもらう企画を進行しています。

#新ブーンッ!とは

るガイドラインや行政文書管理規則がどうしたら守られるか、財務省の調査結果もみながら考えていかなければならない」と語り、再発防止策を検討する考えを示した。

